



2022年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年10月6日

上場会社名 株式会社GameWith 上場取引所 東
 コード番号 6552 URL <https://gamewith.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 執行役員 (氏名) 今泉 卓也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 執行役員 (氏名) 伊藤 修次郎 TEL 03-5860-5698
 四半期報告書提出予定日 2021年10月6日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年5月期第1四半期の連結業績（2021年6月1日～2021年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年5月期第1四半期	712	3.7	34	—	32	—	18	—
2021年5月期第1四半期	687	—	△70	—	△73	—	△77	—

(注) 包括利益 2022年5月期第1四半期 18百万円 (—%) 2021年5月期第1四半期 △77百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年5月期第1四半期	1.02	1.01
2021年5月期第1四半期	△4.29	—

(注) 2020年5月期第3四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため、2021年5月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年5月期第1四半期	4,770	3,169	66.4
2021年5月期	4,818	3,151	65.3

(参考) 自己資本 2022年5月期第1四半期 3,166百万円 2021年5月期 3,148百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年5月期	—	—	—	—	—
2022年5月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年5月期の連結業績予想（2021年6月1日～2022年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,193	10.9	133	—	130	—	79	—	4.39

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社グループでは年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年5月期1Q	18,295,900株	2021年5月期	18,295,900株
② 期末自己株式数	2022年5月期1Q	251,235株	2021年5月期	251,235株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年5月期1Q	18,044,665株	2021年5月期1Q	17,969,057株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は2021年10月6日（水）に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	4
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6
(会計上の見積りの変更)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増えています。新型コロナウイルス感染症拡大に伴う断続的な緊急事態宣言の発令やまん延防止等重点措置の適用により経済活動が制限される中で、ワクチン接種などの感染拡大の防止策を講じつつ、政府の各種政策や海外経済の改善もあり、社会活動は徐々に持ち直しの動きが続くことが期待されました。しかしながら、新たな変異株の拡散が懸念されるなど収束の見通しが立たず、依然として先行きに対する不透明感が続いており、個人消費や行動においても、底堅さはみられませんが、引き続き弱い動きとなっております。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、ゲーム情報メディア「GameWith」等にて、①ゲームを有利に進めるための情報を提供する「ゲーム攻略」、②ゲームを見つけるための情報を提供する「ゲーム紹介」、③専属のゲームタレント及びeスポーツ選手が動画プラットフォーム上で行う「動画配信」という主な3つのコンテンツの提供と充実を図ることに経営資源を投下することで、「GameWith」等のメディアの価値を高めてまいりました。

当社グループの事業は、上記コンテンツをWebサイト及びアプリの利用者に提供し、そこに表示される広告枠を販売すること等により収益を得ております。当第1四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の影響により広告出稿を控えていた企業も徐々に出稿を増やしており、「GameWith」等のページビュー当たりの広告単価は改善傾向にありましたが、ページビュー数は低い水準で推移しました。

このような環境下において、当社グループはゲーム攻略やゲーム紹介といった既存事業の拡大に取り組むだけでなく、新たにeスポーツ領域に注力することで今後の事業を拡充することに努めてまいりました。eスポーツ領域は、話題性があることはもちろん、当社グループが2018年から培ったプログラミングチームの運営ノウハウや動画配信など、他社にはない経営資源に更なる磨きをかけることで差別化を図ってまいりました。一般的にスポンサー収益が多くを占めるため安定的な収益を得ることが難しいとされているeスポーツ領域においても、当社グループはeスポーツ選手による積極的な配信やグッズの販売、ファンクラブの運営などにバランスよく取り組むことで、安定的かつ収益の拡充が見込まれるビジネスモデルの確立を実現してまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は712百万円（前年同期比3.7%増）、営業利益は34百万円（前年同期は営業損失70百万円）、経常利益は32百万円（前年同期は経常損失73百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は18百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失77百万円）となりました。

なお、当社グループは「メディア事業」の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載をしておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は4,770百万円となり、前連結会計年度末に比べ48百万円減少いたしました。これは主に、借入金の返済等により現金及び預金が28百万円、投資その他の資産が14百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は1,601百万円となり、前連結会計年度末に比べ66百万円減少いたしました。これは主に、未払金が25百万円、未払費用が24百万円、その他の流動負債が25百万円増加したものの、賞与引当金が69百万円、長期借入金が82百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は3,169百万円となり、前連結会計年度末に比べ18百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が18百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2021年7月14日の「2021年5月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,530,036	3,501,460
売掛金	384,067	—
売掛金及び契約資産	—	404,891
前払費用	49,353	45,505
未収消費税等	81,872	75,758
未収還付法人税等	161,850	160,062
その他	5,313	4,179
流動資産合計	4,212,495	4,191,858
固定資産		
有形固定資産	122,921	116,367
無形固定資産		
のれん	94,231	87,542
無形固定資産合計	94,231	87,542
投資その他の資産	388,819	374,653
固定資産合計	605,973	578,563
資産合計	4,818,468	4,770,421
負債の部		
流動負債		
買掛金	67,427	80,877
1年内返済予定の長期借入金	328,404	328,404
未払金	62,372	88,347
未払費用	106,811	131,199
未払法人税等	4,777	738
賞与引当金	109,408	39,731
資産除去債務	11,810	11,809
その他	22,273	47,935
流動負債合計	713,284	729,042
固定負債		
長期借入金	926,426	844,325
資産除去債務	27,685	27,684
固定負債合計	954,111	872,009
負債合計	1,667,396	1,601,051
純資産の部		
株主資本		
資本金	549,625	549,625
資本剰余金	548,624	548,624
利益剰余金	2,249,481	2,267,859
自己株式	△200,107	△200,107
株主資本合計	3,147,623	3,166,000
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	445	468
その他の包括利益累計額合計	445	468
新株予約権	3,004	2,900
純資産合計	3,151,072	3,169,370
負債純資産合計	4,818,468	4,770,421

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年8月31日)
売上高	687,640	712,974
売上原価	344,763	388,078
売上総利益	342,877	324,896
販売費及び一般管理費	413,861	290,221
営業利益又は営業損失(△)	△70,984	34,674
営業外収益		
受取利息	13	17
助成金収入	568	570
その他	49	4
営業外収益合計	631	591
営業外費用		
支払利息	452	1,127
投資事業組合運用損	1,843	1,403
為替差損	816	271
その他	198	—
営業外費用合計	3,310	2,802
経常利益又は経常損失(△)	△73,663	32,463
特別損失		
事業所閉鎖損失	41,332	—
特別損失合計	41,332	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△114,996	32,463
法人税、住民税及び事業税	3,542	1,313
法人税等調整額	△41,390	12,773
法人税等合計	△37,847	14,086
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△77,148	18,377
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△77,148	18,377

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△77,148	18,377
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△291	23
その他の包括利益合計	△291	23
四半期包括利益	△77,439	18,401
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△77,439	18,401
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金期首残高に与える影響はありません。

また、収益認識会計基準等の適用による損益に与える影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「売掛金」は、当第1四半期連結会計期間より「売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、時価算定会計基準の適用による四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数の変更)

当社は、一部事務所の退去を予定しているため、退去後利用見込みのない固定資産について、耐用年数を短縮し、将来にわたり変更しております。

なお、この変更による、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

当社グループは、メディア事業の単一セグメントであるため、開示を省略しております。